

CONTENTS



- ✿ 宗教部長巻頭言…1
- ✿ 学生宗教委員長挨拶…1
- ✿ 後期キリスト教週間報告…2
- ✿ クリスマス礼拝・祝会感想文…3
- ✿ アジア・フレンドシップアワー案内…4

宗教部 ニュースレター

「宗教部ニュースレター」第6号発行によせて

平素より、沖縄キリスト教学院宗教部の活動にご理解・ご協力を頂き感謝申し上げます。

2015年度、宗教部は「キリストの平和と真理のうちに生きる」(Living within Christ's peace and truth)を年間テーマに掲げてキリスト教活動を展開してきました。終戦から70年目を迎える今年は特に、この聖句にも示されている「平和」を意識しつつ、本誌で紹介するプログラムを立案・実施しました。キリストの福音に基づく平和教育の実践は、地道なものであり、派手さはないかもしれませんが、平和を守ることはあらゆる人間の生命を保障するための基本的営みであります。ですから、平和教育はあらゆる教育機関にとって最高の「投資」(investment)であると言えます。今後とも、宗教部の活動が「平和を実現する者」を輩出する上で大いに資することを願っております。

宗教部長 青野 和彦

学生宗教委員長挨拶



新年あけましておめでとうございます。この2016年もみなさんにとって素晴らしい年になりますように。さて、私たちHOPEの活動も終盤になってきました。学生向けの「キリスト教行事」も残すは2月のアジアフレンドシップアワーだけとなってしまいました。学生ができるだけ楽しめる行事になるよう私達も力を尽くします。

HOPEまたは「学生宗教委員」は本学のクリスチャンの学生とキリスト教に興味を持つ学生とが交わって構成するサークルのよなものです。(知らない人もいると思うので説明ときます)主な活動は月曜礼拝の手伝いや聖歌隊練習ですが、それ以外にもメンバーの個性、やる気に応じて毎年違うことにチャレンジしています。去年は本学の「キリスト教週間」なるイベント期間中にバンドやストリートダンスを用いたゴスペルライブや、オリジナル劇、野外ランチ会といったものが行えました。また、去年の6月からメンバーの要望によって友人や世界問題のためにみんなで祈る祈禱会を週一回にもっています。バイブルスタディー(みんなで聖書を読んでそれぞれの感想をシェアする集まり)も同時期に始まりました。

私達の活動の目的ははっきり言ってしまえば宣教以外のなんでもありません。それは宗教を広めるために人を強制的に改宗しようとするのではなく、イエス・キリストという神様を皆さんが知るきっかけをつくることです。今現在、このきっかけが人々にまだ十分与えられていないように感じます。やはりどこかでキリスト教は難しく堅苦しい宗教と言うイメージがあり、近づきにくい面を持っています。そこで無意識に「自分には関係ないもの」と判断されてしまうのかもしれませんが、または、興味を示す人はいてもクリスチャンがその人のニーズに応えるような伝え方を実践できていないのかもしれませんが。

その状況の中で今HOPEに出来ることは何か。それを考える時、私は確信を持って答えます。「学生から学生へわかりやすく楽しく神様を伝えること」です。そこに私たちの存在意義があります。皆さんに神様の愛が伝わるのが私たちの願いであり、喜びです。皆さん一人ひとりに神様の愛が降り注ぎますように。お祈りしています！

英語科2年 松本 真輝

2015年度 後期キリスト教週間

program

- ・10月26日(月):月曜礼拝「サマー聖書キャンプ報告会」
- ・10月27日(火):学生企画プログラム① 映画鑑賞“God is not dead”(16:30~17:50、チャペルにて)
- ・10月28日(水):昼食会(12:20~13:00、中庭にて)
- ・10月29日(木):キリスト教講演会(4時限目:14:40~16:10、チャペルにて)
【講演者】篠原 収先生(広島女学院大学国際教養学部国際教養学科教授)
【演題】「平和を創り出す人は幸いである—私たち一人ひとりにできること—」
- ・10月30日(金):学生企画プログラム② コンサート(16:20~18:30、チャペルにて)

戦後70年目の後期キリスト教週間報告

報告者：青野 和彦（宗教部長）

期間中、10月26日の学生宗教委員担当による「月曜礼拝」（サマー聖書キャンプ報告会）からスタートし、「キリスト教講演会」や同委員によるさまざまな企画プログラムを実施しました。

まず、メイン行事としてのキリスト教講演会では広島女学院大学国際教養学部教授の篠原収先生を講師としてお招きし、「平和を創り出す人は幸いである—私たち一人ひとりにできること—」と題する講演を開催しました。沖縄の平和活動にも高い関心を持っておられる篠原先生は、聖書の説く平和と平和学の接点や広島女学院大学での平和学やピースセミナーで実践しておられる平和教育を紹介された後、平和の創出者とし‘diversity(多様性)’が受容される社会を構築してゆく必要性を強調されました。これは、戦後70年の節目にある今年、太平洋戦争で甚大な被害を受けた沖縄や広島で学ぶ者が共有すべき大切な課題であることを実感させられる内容でした。私たちの大半は戦争体験者ではありませんが、本講演を通して歴史を学び、不戦の誓いを新たにすることができることを願っております。

次に学生企画プログラムとして、キリスト教関連の映画「神は死んだのか？」の上映会及び学生宗教委員によるゴスペル・コンサートをチャペルにて実施しました。学生宗教委員は、毎回、様々なアイデアを出し合い、自家製でアットホームな雰囲気のパログラムを創出してくれています。また中身も年々グレードアップしており、PRも周到に行った甲斐もあって今年は昨年以上の参加者に恵まれました。なお、プログラム風景は学院フェイスブックでご覧になれます。

facebook ページ : <http://www.facebook.com/OCU.OCJC>



篠原収先生による講演会



篠原収先生による講演会



真剣に聴く学生



サマー聖書キャンプ報告



学生企画コンサート



楽しいランチ会



クリスマス礼拝



クリスマス礼拝・祝会 感想

阿波根 昌孝 (人文学部3年)

僕はクリスマス礼拝には毎年参加していて、今回で三回目の参加になりました。

毎年、青野先生をはじめ、多くの教職員の方々のお力添えがあって今回の礼拝・祝会もとても良いものにすることができました。本当に感謝の気持ちで一杯です。更に今年も聖歌隊として学生宗教委員ではない学生や教職員の方々も参加して下さって皆で盛大に行うことができたので嬉しかったです。クリスマス礼拝には県内の大学ではキリ学でしかできない特別なもので、今回も皆で協力し合っ

とても充実した礼拝・祝会に出来たと思います。クリスマス礼拝・祝会ではただ歌い、食べるだけではなく、聖歌隊の練習、祝会などでの活動を通して普段なかなか関わる事のない人達と関わるきっかけになるので、その人達と関わる中でお互いの事を知るための良い時間になったと思います。毎年、クリスマス礼拝・祝会共にどんどん良いものになっていると思うので、来年で僕自身が関わるのは最後になりますが、次回のクリスマス礼拝・祝会は今年より更にもっといい物に出来るように取り組んでいきたいです。





2015 アジア・フレンドシップアワー ご案内



今年度も講師の先生をお招きして、アジア・フレンドシップアワーを開催することになりました！！アジア諸国のキリスト教について学べる素晴らしい機会です。多くの皆様のご参加をお待ちしています！！

今年度のテーマは『インドネシア』です！

【講演者】宮平 満氏(沖縄バプテスト連盟ジョイチャペル副牧師、インドネシア留学経験者)

【日時】2016年2月17日(水)18:00~20:00

【場所】シャローム会館 1-2、1-3 及びラウンジ

【内容】第1部:講演 第2部:懇親会

※後日、HP、掲示物で詳細を連絡します。



編集後記

宗教部の主な活動について、紙面にて紹介させていただきました。沖縄キリスト教学院のFacebookページでさらに詳しく、ここで紹介出来なかった活動も掲載されています。ぜひご覧になり、「いいね！」とともに応援をお願い致します！

いいね! <http://www.facebook.com/OCU.OCJC>

宗教部ニューズレター 第6号

2016年1月発行

発行 沖縄キリスト教学院 宗教部
沖縄県中身郡西原町翁長 777 番地

TEL : 098-946-4152

URL : <http://www.ocjc.ac.jp/index.html>

Email : shukyobu@ocjc.ac.jp